

地理歴史・公民(世界史B, 日本史B,  
地理B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で81ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	

# 世界史 B

(解答番号 1～42, 101～108)

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

オリエントとは、(1) 語で「日の昇るところ」を意味し、ほぼ今日の中東地域をさす。このうちメソポタミアでは、紀元前 3000 年頃から都市文明が栄えた。一方エジプトでは、紀元前 3000 年頃、ファラオによる統一国家が作られた。<sup>(ア)</sup> シリア・パレスチナ地方には、紀元前 13 世紀頃にギリシア・エーゲ海方面から「海の民」と呼ばれる人々が進出し、アルファベットの起源を作った(2) 人やヘブライ人などが活動を開始した。紀元前 7 世紀前半には、鉄製の武器と戦車や騎兵隊などを用いた<sup>(イ)</sup> アッシリア帝国が全オリエントを征服した。その後紀元前 6 世紀半ばには、<sup>(エ)</sup> ペルシア人(イラン人)が<sup>(オ)</sup> アケメネス朝をおこし、オリエント世界を再び統一した。アケメネス朝は紀元前 330 年に滅んだが、ペルシア人は 226 年に<sup>(カ)</sup> パルティア王国を倒して<sup>(キ)</sup> ササン朝をおこした。ササン朝の繁栄のもとで、<sup>(ク)</sup> ヘレニズム文明の要素が加わって新しいペルシア文明(イラン文明)がおこった。

問 1 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(101)に記入しなさい。

問 2 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(1)の記号にマークしなさい。

- A シュメール人は、ウル、ウルク、ラガシュなどの都市国家を作った。
- B アッカド人は、シュメール人の都市国家を征服して広大な領域国家を作った。
- C アラム人は、バビロンを都とする古バビロニア王国を建てた。
- D ヒッタイト人は、メソポタミアに遠征して古バビロニア王国を滅ぼした。

問 3 下線部(イ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A テーベを中心に栄えた古王国時代には、王の墓とされるピラミッドが建造された。
- B メンフィスを都とした中王国時代には、ヒクソスの侵入によって国内が混乱した。
- C 新王国はクフ王の治世に繁栄期を迎え、建築活動が盛んに行われた。
- D 新王国時代には、アメンホテプ 4 世がアマルナに遷都し宗教改革を断行した。

問 4 空欄(2)にあてはまる最も適した語句を解答番号(102)に記入しなさい。

問 5 下線部(ウ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(3)の記号にマークしなさい。

- A 一部はエジプトに移住したが、モーセに率いられてパレスチナに脱出した。
- B ダヴィデ王の死後に、王国は南のユダ王国と北のイスラエル王国に分裂した。
- C ユダ王国は、紀元前 722 年にアッシリアに滅ぼされた。
- D イスラエル王国は、紀元前 586 年に新バビロニアに滅ぼされた。

問 6 下線部(ニ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(4)の記号にマークしなさい。

- A 駅伝制を設け、粘土板文書を保存して、情報の収集に努めた。
- B ダマスカスを首都とし、征服地を属州に分け、総督を派遣して直接統治した。
- C 強制移住や重税などのために服属民の反感を招いた。
- D その滅亡後、エジプト、リディア、カルデア、メディアの 4 王国が分立した。

問 7 下線部(カ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(5)の記号にマークしなさい。

- A メディアの政権を奪取したネブカドネザル2世が建国した。
- B ダレイオス3世は、エーゲ海北岸からインダス川に至る大帝國を建設した。
- C 各州に知事をおいて全國を統治し、監察官を巡回させて中央集権化をはかった。
- D 「王の道」と呼ばれる国道を作り、都サルデスを中心に馭伝制を整備した。

問 8 下線部(カ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(6)の記号にマークしなさい。

- A イラン系遊牧民の族長であるアルサケスが建国した。
- B 漢帝國に至る交易路の西半を抑えて繁榮し、中国人には契丹と呼ばれた。
- C 紀元前2世紀半ばにメソポタミアを併合した。
- D 中央集権制をとり、ギリシア語の文化を保護した。

問 9 下線部(キ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(7)の記号にマークしなさい。

- A アルダシール1世がエクバタナを都として建国した。
- B シャープール1世はローマ軍を破り、皇帝ユリアヌスを捕虜にした。
- C 5世紀には、中央アジアの遊牧民であるエフタルの侵攻に苦しめられた。
- D 6世紀のホスロー1世は、柔然と結んでエフタルを滅ぼした。

問10 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(8)の記号にマークしなさい。

- A ササン朝の時代には、ミトラ教の経典『アヴェスター』が編纂された。
- B 3世紀の宗教家マニは、キリスト教や仏教などを融合してマニ教を創始した。
- C 華麗なガラス器、銀製品、織物などに特色があり、それはササン朝美術と呼ばれた。
- D ササン朝美術は、同時代の中国や日本、後世のイスラーム美術に影響を与えた。

〔Ⅱ〕 次の文章(1～2)を読み、下記の設問に答えなさい。

1 14世紀から16世紀にかけての西ヨーロッパでは、人間の理性や感性を重視する新しい文化創造の動きであるルネサンスが展開した。ルネサンスでは、現世に生きる楽しみや理性・感情の活動が重視され、これを支えたのが(1)の思想であった。ルネサンスの運動は、哲学・思想などの学問、建築・彫刻・絵画などの美術、文学、音楽、科学技術と多様な分野で進められた。

問 1 下線部(ア)に関連し、①と②の文の正誤の組合せとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(9)の記号にマークしなさい。

- ① 地中海貿易の盛んなイタリアや毛織物工業が成長したポルトガルで早くから展開した。
- ② この時期の学者や芸術家は都市に住む教養人で、多くは権力者の保護のもとで活動した。

- A ①－正 ②－正
- B ①－正 ②－誤
- C ①－誤 ②－正
- D ①－誤 ②－誤

問 2 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(103)に記入しなさい。

問 3 下線部(イ)に関連し、作者と代表作の組合せとして誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(10)の記号にマークしなさい。

- A ドナテルロ － 「聖フランチェスコの生涯」
- B ホルバイン － 「エラスムス像」
- C デューラー － 「四人の使徒」
- D ブリュエール － 「農民の踊り」



問 4 下線部(ウ)に関連し、著者と代表作の組合せとして誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(11)の記号にマークしなさい。

- A セルバンテス — 『ドン=キホーテ』
- B チョーサー — 『カンタベリ物語』
- C モンテーニュ — 『エッセー(随想録)』
- D ボッカチオ — 『叙情詩集』

問 5 下線部(エ)に関連し、①～③の文を年代の古い順に正しく並べたものを下から一つ選び、解答番号(12)の記号にマークしなさい。

- ① ポーランド人のコペルニクスが地動説を唱えた。
- ② ドイツ人のケプラーが惑星の運行法則を発見した。
- ③ ドイツ人のグーテンベルクが活版印刷術を改良した。

- A ① → ② → ③
- B ② → ③ → ①
- C ③ → ① → ②
- D ③ → ② → ①

2 宗教改革は、ドイツの神学者<sup>(オ)</sup>マルティン=ルターが1517年に、贖宥状の悪弊を攻撃する「95か条の論題」を発表したことに始まった。スイスの (2) では、カルヴァンが独自に宗教改革を開始し、<sup>(カ)</sup>カルヴァン派は西ヨーロッパに広まった。イギリスでは、<sup>(キ)</sup>ヘンリ8世が1534年に国王至上法を定めてイギリス国教会を成立させ、教皇と絶縁した。宗教改革の進展に打撃を受けたカトリック教会は、1545年から<sup>(ク)</sup>トレント(トリエント)で公会議を開いて対抗宗教改革に乗り出した。

問 6 下線部(オ)に関連し、①と②の文の正誤の組合せとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(13)の記号にマークしなさい。

- ① 神聖ローマ皇帝レオ 10 世から自説を撤回するよう求められたが拒否した。
- ② ザクセン選帝侯フリードリヒに保護され『旧約聖書』をドイツ語に翻訳した。

- A ①－正 ②－正
- B ①－正 ②－誤
- C ①－誤 ②－正
- D ①－誤 ②－誤

問 7 空欄(2)にあてはまる最も適した都市名を解答番号(104)に記入しなさい。

問 8 下線部(カ)に関連し、国名と当該国におけるカルヴァン派の呼び名の組合せとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(14)の記号にマークしなさい。

- A フランス － ユグノー
- B イングランド － ゴイセン
- C スコットランド － ピューリタン
- D オランダ － プレスビテリアン



問 9 下線部(キ)に関連し、①と②の文の正誤の組合せとして最も適したものを  
下から一つ選び、解答番号(15)の記号にマークしなさい。

- ① 修道院を議会立法で廃止しその広大な土地財産を没収した。
- ② フランス王家出身の王妃との離婚を認めないローマ教皇と対立した。

- A ①－正 ②－正
- B ①－正 ②－誤
- C ①－誤 ②－正
- D ①－誤 ②－誤

問10 下線部(ク)に関連し、①と②の文の正誤の組合せとして最も適したものを  
下から一つ選び、解答番号(16)の記号にマークしなさい。

- ① ローマ教皇の至上権を再確認した。
- ② 禁書目録を制定した。

- A ①－正 ②－正
- B ①－正 ②－誤
- C ①－誤 ②－正
- D ①－誤 ②－誤

〔Ⅲ〕 次の文章(1～2)を読み、下記の設問に答えなさい。

1 インド最初のイスラーム王朝は、奴隷出身であるアイバクがデリーに創始した奴隷王朝である。その後約 300 年間に、北インドにはデリーを都とする<sup>(ア)</sup>4つの王朝が続いた。これら 5 つの王朝は<sup>(イ)</sup>デリー＝スルタン朝と呼ばれる。

ムガル帝国は、ティムールの子孫バーブルが創設し、第 3 代皇帝アクバル治世下で大帝国となった。アクバルは、改革を実施し、帝国の政治的基盤を構築した。その後、第 6 代皇帝 (1) が、デカン高原の平定に注力した結果、帝国の領土は最大となった。しかしながら、<sup>(エ)</sup>その治世下では農民反乱が生じ、地方勢力が影響力を強めた。

文化面では、ムガル帝国時代にはイスラーム教の普及とともに、<sup>(オ)</sup>華やかな文化が開花した。

問 1 下線部(ア)に関連し、それに含まれないものを下から一つ選び、解答番号(17)の記号にマークしなさい。

- |         |          |
|---------|----------|
| A ハルジー朝 | B トゥグルク朝 |
| C サイド朝  | D ゴール朝   |

問 2 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(18)の記号にマークしなさい。

- A ヒンドゥー教徒の小王朝には大幅な自治が許された。
- B イスラーム教が国教と定められた。
- C 最後の王朝はムガル帝国によって滅ぼされた。
- D インド＝イスラーム文化が誕生した。

問 3 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(19)の記号にマークしなさい。

- A 全国の土地を測量して徴税する制度を導入した。
- B 非イスラーム教徒に課されていた人頭税(ジズヤ)をもとに財政基盤を確立した。
- C 支配階層を騎兵・騎馬数とそれに応じた給与によって等級づけ、官位を与えた。
- D 首都をアグラに移した。

問 4 空欄(1)にあてはまる最も適した人物名を解答番号(105)に記入しなさい。

問 5 下線部(エ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(20)の記号にマークしなさい。

- A 東インドでは、ヒンドゥー国家の建設を目指したマラーター王国が登場した。
- B シヴァージーがアワド王国を創設した。
- C 西北インドでは、シク教徒が反乱を起こした。
- D 南インドでは、ヴィジャヤナガル王国が独立した。

問 6 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(21)の記号にマークしなさい。

- A 宗教的・庶民的画風を特色とするラージプート絵画が盛んになった。
- B タージ=マハルに代表されるインド=イスラーム建築が発展した。
- C ムガル帝国は、ヒンディー語を公用語とした。
- D イランから入ってきた細密画がムガル絵画に発展した。

2 ムガル帝国がその絶頂期を過ぎると、ヨーロッパ列強がインド国内の政治状況に干渉するようになった。顕著なのがイギリスで、東インド会社がインド国内の諸政治勢力に対して支配を広げていった。<sup>(カ)</sup>

イギリスの支配に対するインド人の不満が高まる中、1857年に北インドでインド人傭兵(シパーヒー)による大反乱が発生した。<sup>(キ)</sup>反乱発生後、イギリスは1858年に東インド会社を解散し、インドの直接統治に乗り出した。<sup>(ク)</sup>

1885年にインド人の意見を諮問する機関としてインド国民会議が結成された。インド国民会議は、当初穏健な組織として出発したが、しだいに民族運動の中心となっていった。そこで、イギリスは宗教的な対立を利用して民族運動を分断させようとして、1905年にベンガル分割令を発表したが、インドの反発が強まった。<sup>(ケ)</sup>

問 7 下線部(カ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A マイソール王国との4次にわたる戦争に勝利して、東インド支配を確立した。
- B 1765年にベンガル・ビハール両地域の徴税権を獲得した。
- C 2次にわたるシク王国との戦争に勝利した。
- D ブラッシーの戦いで勝利し、ベンガルの実質的な支配権を手中にした。

問 8 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から複数選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A シパーヒーがムガル皇帝を擁立し、イギリスに宣戦した。
- B 反乱は全インドに拡大した。
- C 反乱には、旧支配層など多くの層が加わった。
- D イギリスは、反乱鎮圧後にムガル皇帝を流刑に処した。

問 9 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(24)の記号にマークしなさい。

- A イギリス本国には、インド省と担当大臣が置かれた。
- B インドでは、イギリス人総督と参事会が政庁を統轄した。
- C 統一的な刑法の制定など、司法体制が整備された。
- D ライヤットワーリー制が新たに導入された。

問10 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(25)の記号にマークしなさい。

- A ベンガル分割令は、ベンガル州を二つに分割するとした法令である。
- B ベンガル分割令は、激しい反対運動にもかかわらず撤回されなかった。
- C イスラーム教徒は、インド国民会議とは別に、全インド＝ムスリム連盟を結成した。
- D 1906年にインド国民会議は、英貨排斥、スワデーシ、スワラージ、民族教育の4綱領を決議した。

〔IV〕 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

16世紀のスペインにはじまる重商主義<sup>(ア)</sup>にもとづき、イギリスは北米植民地の自由な貿易や工業の発展を抑えようとしていた。また、財政赤字を軽減するために課税の強化を図った。このため、植民地側の不満が高まり、1776年には13植民地の代表が、で独立宣言を発表するに至った。その後、独立戦争に勝利し、1783年にはパリ条約でアメリカ合衆国の独立が承認された。また、1787年の憲法制定会議では合衆国憲法が制定された。

19世紀に入ると、アメリカは領土を急激に拡大していった。1803年にルイジアナを獲得すると、1819年にフロリダ州にあたる広大な領土を購入した。1845年に, 1846年にを併合し、1848年にはを獲得するなど領土拡大はその後も続いた。

他方で南部と北部の対立が激化した。一時的に対立は収まったが、1860年にリンカンが大統領に就任すると南北の緊張は頂点に達し、南北戦争<sup>(イ)</sup>が勃発した。

南北戦争が北部勝利で終結すると、荒廃した南部の再建が進められたが、解放された黒人奴隷を取り巻く環境が劇的に好転したわけではなかった。黒人の多くは、シェアロッパーとして貧しい生活を余儀なくされた。対照的に西部では、ホームステッド法<sup>(オ)</sup>によって入植者が増加し、1860年前後には金や銀の採掘が始まった<sup>(カ)</sup>。

対外的には、1898年にはアメリカ＝スペイン(米西)戦争に勝利して、アメリカの影響力はアメリカ以外の地域に拡大していった<sup>(キ)</sup>。

第一次世界大戦後、アメリカは債務国から債権国に転じ、国際金融市場の中心の一つになった。1921年から、共和党の大統領による政権が3代<sup>(ク)</sup>にわたって続き、「永遠の繁栄」を謳歌した。

問 1 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(26)の記号にマークしなさい。

- A 重商主義では、官僚制と常備軍維持の財源を確保するために、政府が積極的に経済に介入した。
- B 重商主義は、初期の重金主義から貿易差額主義に移行した。
- C イギリスでは、商工業者の求める国内産業の保護政策が実施された。
- D フランスでは、ルイ 14 世につかえたテュルゴーが財務総監として重商主義を推進した。

問 2 空欄(1)にあてはまる最も適した都市名を解答番号(106)に記入しなさい。

問 3 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(27)の記号にマークしなさい。

- A 権力の乱用を避けるために、三権分立の原則が定められた。
- B 軍隊に対する文民統制や人民の権利を保護する条項が明記された。
- C 人民主権を基礎とした共和政が採用された。
- D ジェファソンを中心とする連邦派は、憲法草案を支持した。

問 4 空欄(2)から(4)にあてはまる地名の組合せとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(28)の記号にマークしなさい。

- A (2)ーテキサス                      (3)ーオレゴン                      (4)ーカリフォルニア
- B (2)ーオレゴン                      (3)ーテキサス                      (4)ーカリフォルニア
- C (2)ーオレゴン                      (3)ーカリフォルニア                      (4)ーテキサス
- D (2)ーカリフォルニア                      (3)ーオレゴン                      (4)ーテキサス



問 5 下線部(ウ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(29)の記号にマークしなさい。

- A 1820年に、北緯36度30分以南に奴隷州をつくらないと定めたミズーリ協定が結ばれた。
- B 産業革命以前の段階にあり、商工業が未発達であったため、北部は保護関税政策を主張した。
- C イギリス向け綿花輸出を拡大するために、南部は連邦政府主導の自由貿易の推進を主張した。
- D 1854年に定められたカンザス・ネブラスカ法では、奴隷制の可否を住民の決定に求めたために、南北の対立は一時的に鎮静化した。

問 6 下線部(エ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(30)の記号にマークしなさい。

- A 1861年に南部がアメリカ連合国を創設し、ジェファソン=デヴィスを大統領に選び、戦端を開いた。
- B 1863年の奴隷解放宣言は、アメリカの全ての州と地域を対象とした。
- C 1863年のゲティスバーグの戦いで形勢は逆転し、北軍有利となった。
- D 1865年のリッチモンドの陥落で南軍は降伏し、南北戦争は終結した。

問 7 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(31)の記号にマークしなさい。

- A 南北戦争後に南部ではシェアロッパー制度が普及した。
- B 地主がプランテーションの土地を小区画に分けて小作人に貸し出した。
- C 小作人は農具や住居も地主から借りることになった。
- D 小作人は定額の地代を地主に納めなければならなかった。

問 8 下線部(カ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(32)の記号にマークしなさい。

- A 1862年に制定された自営農育成のための法律である。
- B 南北戦争における西部農民の北軍支持の拡大に貢献した。
- C 5年間耕作すれば160エーカーの国有地を有利な条件で購入できた。
- D 白人農民による開拓が一気に進んだため、先住民は土地を追われた。

問 9 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(33)の記号にマークしなさい。

- A アメリカは、米軍艦の撃沈を口実にアメリカ＝スペイン戦争を開始した。
- B アメリカ＝スペイン戦争の結果、キューバはプラット条項によりアメリカの自治領となった。
- C アメリカは、アメリカ＝スペイン戦争の勝利によって、フィリピンとプエルトリコを植民地とした。
- D セオドア＝ローズヴェルトは、中米諸国に武力干渉をおこなうとともに、パナマ運河の建設など、積極的なカリブ海政策を実施した。

問10 下線部(ク)に関連し、それに該当する人名を就任順に正しく並べたものを下から一つ選び、解答番号(34)の記号にマークしなさい。

- A ハーディング → クーリッジ → フーヴァー
- B ハーディング → フーヴァー → クーリッジ
- C クーリッジ → ハーディング → フーヴァー
- D クーリッジ → フーヴァー → ハーディング

〔V〕 次の文章(1～2)を読み、下記の設問に答えなさい。

1 繁栄を誇った清朝も辛亥革命によって1912年に滅亡した。しかし軍閥が割  
拠し、不安定な状況が十数年にわたって続いた。この間、第一次世界大戦、ロ  
シア革命、パリ講和会議など、中国は世界情勢と無関係ではいられなかった。  
パリ講和会議をきっかけとした1919年の五・四運動は、新文化運動の影響も  
受けて高揚した。<sup>(イ)</sup>

同じ1919年に孫文を中心にして中国国民党が結成され、1921年には中国共産党  
が成立した。<sup>(ウ)</sup>中国国民党は1924年の一全大会で「(1)」の政策を採択  
し、第1次国共合作が成った。孫文の死後に中国国民党の指導者となった蔣介  
石は国民革命軍を率いて北伐を進め、1928年に中国統一を完成した。  
<sup>(エ)</sup>

問 1 下線部(ア)に関連し、清朝の時代におきた国内動乱についての説明として誤  
りのあるものを下から一つ選び、解答番号(35)の記号にマークしなさい。

- A 白蓮教徒の乱を起こした白蓮教は、宋代に成立した仏教色の強い民間の  
宗教結社であった。
- B 太平天国は、洪秀全が組織したキリスト教的宗教結社の拝上帝会を母体  
とした。
- C 捻軍は、主に銀の密売をおこなう武装集団による反乱軍であった。
- D 義和団事件などの仇教運動は、反キリスト教を掲げた排外運動であっ  
た。

問 2 下線部(イ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(36)の記号にマークしなさい。

- A 陳独秀は『青年雑誌』を発刊した。
- B 宋教仁は『阿Q正伝』を書いた。
- C 胡適は『狂人日記』を書いた。
- D 李大釗は『儒林外史』を書いた。

問 3 下線部(ウ)に関連し、孫文の活動として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(37)の記号にマークしなさい。

- A ハワイで興中会を結成した。
- B 東京で中国同盟会を結成した。
- C 東京で中華革命党を結成した。
- D 「民族主義・民権主義・民主主義」の三民主義を掲げた。

問 4 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(107)に記入しなさい。

問 5 下線部(エ)に関連し、清末からのさまざまな軍についての説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(38)の記号にマークしなさい。

- A 湘軍は曾国藩が湖南で組織した郷勇で、太平天国の鎮圧にあたった。
- B 新軍は清末に編制された洋式陸軍で、新軍内の革命派の武昌蜂起は辛亥革命の発端となった。
- C 北洋軍は袁世凱の私兵と化し、辛亥革命後に北洋軍閥を形成した。
- D 国民革命軍は孫文が創設し、初代の最高司令官に就任した。

2 1927年の上海クーデタは第1次国共合作を崩壊させ、国共分裂を招いた。蒋介石はその6日後に南京に国民政府<sup>(オ)</sup>を建てた。中国共産党の革命運動は都市から農村へと重心を移した。中国共産党は江西省 (2) に中華ソヴィエト共和国臨時政府を置いたが、国民党軍の攻撃を受けて延安までの長征(1934～36年)を果たした。

この間に日本は中国への軍事関与を強め、1937年の (3) を機に日中全面戦争が始まった。ここに第2次国共合作<sup>(カ)</sup>が成立した。しかし第二次世界大戦の日本降伏後には国共内戦が再開された。内戦に勝利した中国共産党は1949年に中華人民共和国<sup>(キ)</sup>を建て、中国国民党が率いる国民政府は台湾に逃れた。

問 6 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(39)の記号にマークしなさい。

- A 南京国民政府は列国の承認を受け、正式な中華民国政府となった。
- B 浙江財閥は南京国民政府の経済を支えた。
- C 国民政府は南京から武漢・重慶に移り、戦後の1946年に北京に遷都した。
- D 汪兆銘は日本の傀儡政権である南京政府の主席となった。

問 7 空欄(2)にあてはまる最も適した地名を解答番号(108)に記入しなさい。

問 8 空欄(3)にあてはまる最も適した語句を下から一つ選び、解答番号(40)の記号にマークしなさい。

- A 西安事件
- B 盧溝橋事件
- C 張作霖爆殺事件
- D 柳条湖事件

問 9 下線部(カ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(41)の記号にマークしなさい。

- A 中国国民党が発表した八・一宣言をもとに成立した。
- B 第1次国共合作時に成立した抗日民族統一戦線が再結成された。
- C 紅軍は国民革命軍の第八路軍・新編第四軍に改編された。
- D 幣制改革により、法幣が両党の支配地域において統一通貨となった。

問10 下線部(キ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(42)の記号にマークしなさい。

- A 1949年に毛沢東が初代首相に就任した。
- B 1950年に日本などを仮想敵国とした中ソ友好同盟相互援助条約を結んだ。
- C 1950年の土地改革により、人民公社による農業の集団化が進められた。
- D 1950年に西側の主要国としては最初にフランスによって承認された。